

前回（第1回）のグループワークで頂いた主な意見

【A班】「担い手不足の解消」について

- ・担い手を増やす何か良い仕掛けが必要ではないか
- ・町会加入のメリットがわかりづらい。一度、何らかの形で町会に関わると役員になると求められそうで負担に感じる人もいる
- ・みんなが集まる居場所として学校の上手な活用が有効ではないか
- ・子どもや高齢者、障がい者など関係なく、多くの人が参加できるイベントの開催などが有効ではないか

【B班】「ゆるやかなつながりづくり」について

- ・地域福祉という言葉が全住民を対象としているという認識が低く、当事者意識も低い
- ・地域福祉の福祉部分に特化せず、スポーツや文化活動の取組みが有効ではないか
- ・住吉区には学校が多くあるので連携することも有効ではないか
- ・子ども達の登下校時に、高齢者が「植木の水やり」や「散歩」など、外出して見守ることが地域のつながりづくりに有効ではないか
- ・子どもたちに、自分の住んでいるまちの事を考えてもらうことが有効ではないか

【参考】

◎住吉区地域福祉ビジョンVer3.0

○基本目標1 ちがいとつながりを力にして、一人ひとりがかかがやけるまちづくり

各項目①～④と「★」自分ができることのイメージ

①自分と地域を重ねて、しあわせを考えられる住吉区に

★自分のやりたいこと、できることから無理せず活動に参加してみよう

②地域のしあわせをいろいろな人と話し合える住吉区に

★自分のまちをこんなまちにしたい、を身近な人々と話しあおう

③助け助けられ、お互いさまを実感できる住吉区に

★頼り上手は頼られ上手、お互いさまの関係を増やしていこう

④地域のしあわせ「今」「これから」がみんなに見える住吉区に

★自分のまちでどんな活動が行われているか探してみよう